健康の窓



知って 気づいて 早めの行動を！

～大腸がんから、あなたと家族を守ろう～

■問い合わせ　いきいき健康課　☎ 23-3220

大腸がんは 40 歳代頃から患者数が増え、全国では年間 15 万人以上が診断される非常に身近ながんです。また、年間５万人以上が亡くなっています。

（出典：国立がん研究センターがん情報サービス）

安来市の大腸がんの状況

安来市のがん部位別死亡順位（令和６年度）では男女ともに「大腸がん」が第１位となっています。（下表）多くの方が亡くなっている身近ながんだからこそ、検診による早期発見・早期治療が大切です。

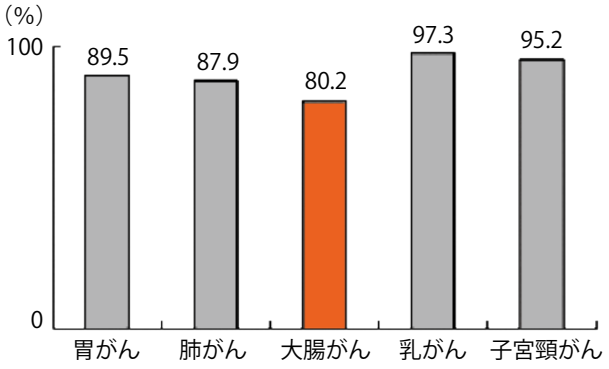
	男性	女性
１位	**大腸**	**大腸**
２位	肺	すい臓
３位	すい臓	胃

（出典：人口動態調査）

がん検診を受けるメリット

○ 早期に発見できれば、身体への負担が少なく、治療費も抑えられます。
○ 検診は短時間で済みますが、がんの治療にはより長い時間がかかります。

がん検診精密検査受診率
（令和６年度　安来市）



大腸がん検診は、他の検診に比べて精密検査の受診率が特に低い傾向にあります。「要精密検査」となっても、そのまま放置してしまう人が少なくありません。しかし、精密検査を受けることこそが、がんの早期発見へつながる大切な一歩です。

まずは、がん検診を受けましょう

○ 40 歳以上の自覚症状のない人が対象です。
○ 1 年に 1 回、便潜血検査を行います。
○ 症状がない段階で、大腸がんの疑いを見つけます。
○ 大腸がん検診の結果が陽性（＋）の場合は、必ず精密検査を受けましょう。

今年度の検診は、令和９年２月 28 日㈯まで

40 歳以上で今年度まだ受診していない人は、ぜひこの機会にがん検診を受けましょう。詳しくは、令和８年度健診のしおり、または市ホームページ（右２次元コード）をご確認ください。